

平成 29 年度 第3回 屋代高等学校・附属中学校 学校評議員会 記録

日 時： 平成 30 年 2 月 15 日(木) 14:45～17:00 (授業参観 14:45～15:40)

場 所： 本校会議室

出席者： 学校評議員 5 名

学校職員 11 名 (学校長, 教頭, 副校長, 高校・中学教務主任, キャリア教育係,
生徒指導主任、広報入試係長, SSH 委員長, 生徒会係主任, 教務係)

司 会： 教頭

1 開会 (教頭)

2 校長挨拶 (学校長)

3 学校からの説明

① SSHの取り組み

・生徒発表

1) 理科班 「七宝焼きの化学」

質問・意見

- ・研究のきっかけは何だったのか。
- ・七宝焼きそのものに興味関心があったのか、それとも化学的な色の発色の仕方に興味があったのか。
- ・聴衆の興味関心を引きつけるプレゼンテーションの仕方にも工夫してみてもどうか。

2) 米国研修報告

質問・意見

- ・今年度の発表者は女生徒で、男子とは視点が違って興味深かった。
- ・現地高校との交流で、こちらが主体的におこなったことは？
- ・この研修を通して、自身の中にいままでとは違う変化が見られるか？
- ・いい経験をしてきているなど感じさせてもらった。

② センター試験結果、二次試験・私大入試への取り組み (キャリア教育係)

質問・意見

- ・一貫生と選抜生と、別々のデータも作成しているか？今後、必要になっていくだろうと考えられる。
- ・理数が弱い傾向が見受けられる。特に物理については、本校の平均点が全国平均とほぼ同じであるという実態が気になる。
- ・東大志願者 10 名は一貫生なのか？世間で注視されている部分だと思う。
- ・一貫生の東大志願者増といった状況に、選抜生も刺激を受けたり触発されている姿がみられるか？

③ 学校評価 (学校評議員アンケート集計) について (教務係)

4 主な質疑・提言

- ・毎回出される資料を拝見し、分析の仕方もいろいろあるのだなと感心し勉強になった。高校の授業を参観して思うことは、今までのような講義一辺倒の授業形態ではなくなってきていること。隣同士で意見を交換し合うような時間も設けられ、生徒同士のつながりを感じた。今後もこのような取り組みを進めて欲しい、協力できることはできる限り協力したい。
- ・付属中学ができる前と後では、明らかに屋代高校志願者が減少している。狭き門だと受験生が感じているせいかもしれないが、もっと遠慮無くPRをしてもいいのではないか。現在の小中の生徒を見ていても、本当に勉強をしないなと感じることが多い。屋代高校合格者の中でも、学力の格差が生じることは、ある程度仕方が無い。
- ・三年間評議員を務めさせていただいた。センター試験の物理の校内平均点には本当にショックを感じる。大学の新入生を見ていても、人間関係の形成ができない生徒や勉強の仕方がわからない生徒が昨今多数見受けられる。家庭学習の習慣を是非身につけさせて欲しいし、一層の取り組みを期待する。
- ・高校生になる以前の段階で、都会の生徒とは生活が根本的に違うと感じる。都会のような過熱ぶりが果たして良いのかどうか。しかし、センターのデータなどを突きつけられとそうも言っていない面もあるし難しい。屋代高校では今までの取り組みを継続して欲しい。
- ・理数教科の得点が低いのは長野県全体の課題。小中でも長野県の理数の得点は低く、理数科嫌いが増加傾向。小中高の連携も必要。付属中は、開校前から世間の期待と注目を集めてきたが、一期生の卒業を機に、外に向けて成果をアピールして欲しい。授業参観を通して、授業スタイルの変化を肌で感じる事ができた。今後も先端的な授業展開を進めて欲しい。屋代高校は各界で活躍する大勢の卒業生を輩出しているので、その姿をもっと在校生にも紹介して鼓舞して欲しい。

5 学校長御礼・挨拶

- ・ご意見を参考に、グローバルな時代の要請に応じて、たくましく社会に貢献できる生徒の育成を今後も目指していきたい。